

NEWS RELEASE

カーボンニュートラルの実現のため、経済社会システム全体の変革に向けた議論に参画
経済産業省「GX リーグ基本構想」に賛同

三菱電機株式会社は、経済産業省が公表した「GX リーグ基本構想^{※1}」への賛同を表明しました。「GX リーグ」とは、GX（グリーントランスフォーメーション）^{※2}に積極的に取り組む企業が、行政や大学・公的研究機関、金融機関でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーと共に、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場として設立されるものです。

当社は、2050年を見据えた「環境ビジョン2050^{※3}」のもと、「大気、大地、水を守り、心と技術で未来へつなぐ」を「環境宣言」として掲げています。2021年6月には、設計・開発から原材料の調達、製造、販売、流通、使用、廃棄に至るまで、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出の削減を推進し、2050年の排出量実質ゼロを目指す新目標を発表しました^{※4}。GXリーグの趣旨は、このような当社の方向性に合致すると考え、賛同を決定しました。

当社グループは引き続き、バリューチェーン全体の環境負荷低減、製品・システムの省エネ化や先進的な社会インフラの構築を通じて、脱炭素化をはじめとする持続可能な地球環境の実現に貢献してまいります。

※1 GXリーグ基本構想について（経済産業省）

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/GX-league/gx-league.html

※2 カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること）にいち早く移行するための経済社会システム全体の変革

※3 2019年6月13日広報発表 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2019/0613-a.html>

※4 2021年6月3日経営戦略説明会 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2021/pdf/0603-a1.pdf>